

## 令和3年度 「教養講座」を開催しました

令和3年度「教養講座」を12月20日（月）に本校視聴覚室で開催しました。図書委員会主催の本講座は、各分野の専門家から話を聞くことで知的好奇心を喚起し、学問探究の機会を提供するものです。

今回は富山国際大学現代社会学部英語国際キャリア専攻長・教授の渡部恵子先生を講師にお迎えし、「マイクロアグレッション 日常に埋め込まれた差別」と題して、お話ししていただきました。マイクロアグレッションとは、明らかな差別には見えなくても、ジェンダーや人種などの偏見に基づく発言や行動で、無自覚に相手を傷つけることです。渡部先生は、外国人労働者やBLM（ブラックライブズマター）など時事的な事柄や日常生活において無意識に行われる様々な差別について、クイズ形式の質問を交えながらわかりやすく講義を進めてくださいました。無意識の偏見や差別的な言動について考える機会となり、大変有意義な講座となりました。

### 〈生徒の感想〉

- ・マイクロアグレッションについて深く考えることができてよかった。差別は社会の中で重要な問題だと思う。わかりやすい差別もあるがわかりにくいものも多い。身近なところで様々な差別が行われていると思う。それらに気づくこと、考えていくことが未来に向け取り組むべき課題だと思う。（1年）
- ・日常に潜む差別から目を背けず、問題として認識する必要性を強く感じました。これは個人の問題であり、国同士の問題でもある、世界全体の問題だと思いました。（1年）
- ・マイクロアグレッションの問題点として相手を傷つけていることに発言者が無自覚だということがわかりました。自分もそうなっている可能性があるので気をつけていきたいと思いました。（2年）
- ・様々な差別は知らず知らずのうちに引き起こされること、だからこそ時には互いの立場を入れ替えて考えてみることの必要性をこの講座から学びました。社会に出た時、役立つのでしっかりと心に刻んでおこうと思いました。（2年）

